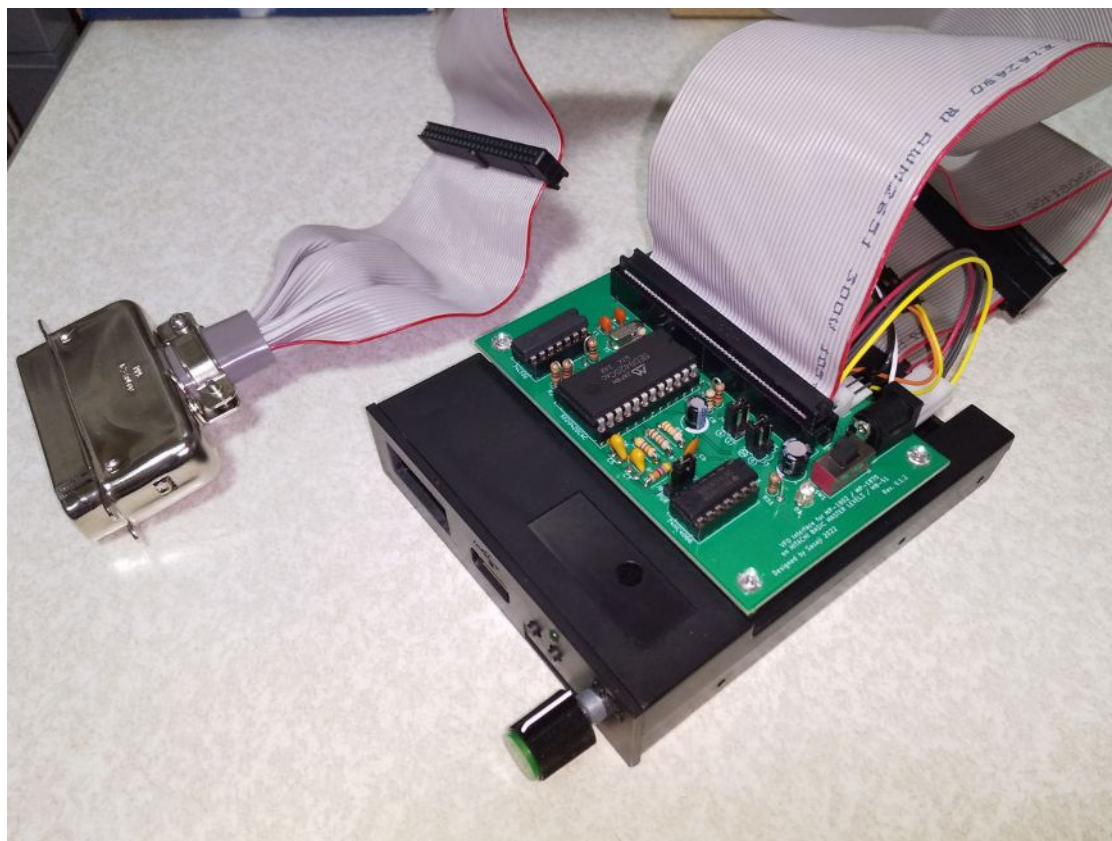
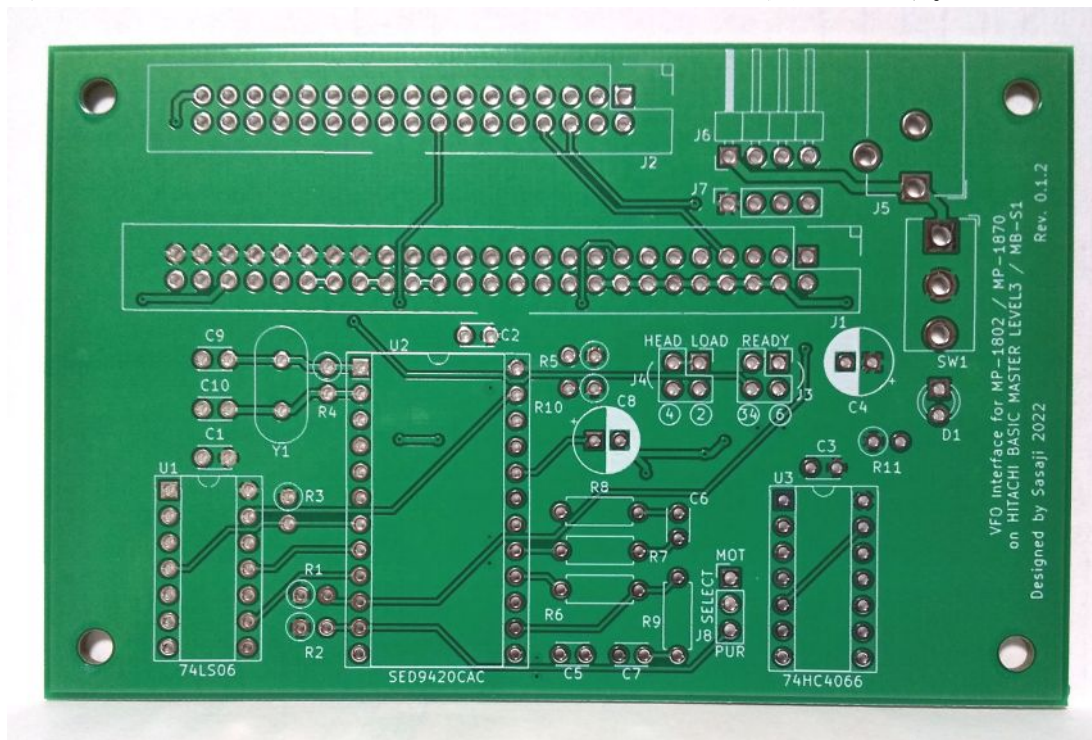


日立ベーシックマスターレベル3 / MB-S1 用 VFO インターフェース for MP-1802 / MP-1870

Designed by Sasaji 2022 Rev. 0.1.2

フロッピーディスクドライブとFD インターフェース MP-1802/MP-1870 の間に接続する拡張ボードです。
日立ベーシックマスターレベル3/マークII/マーク5およびMB-S1で使用できます。



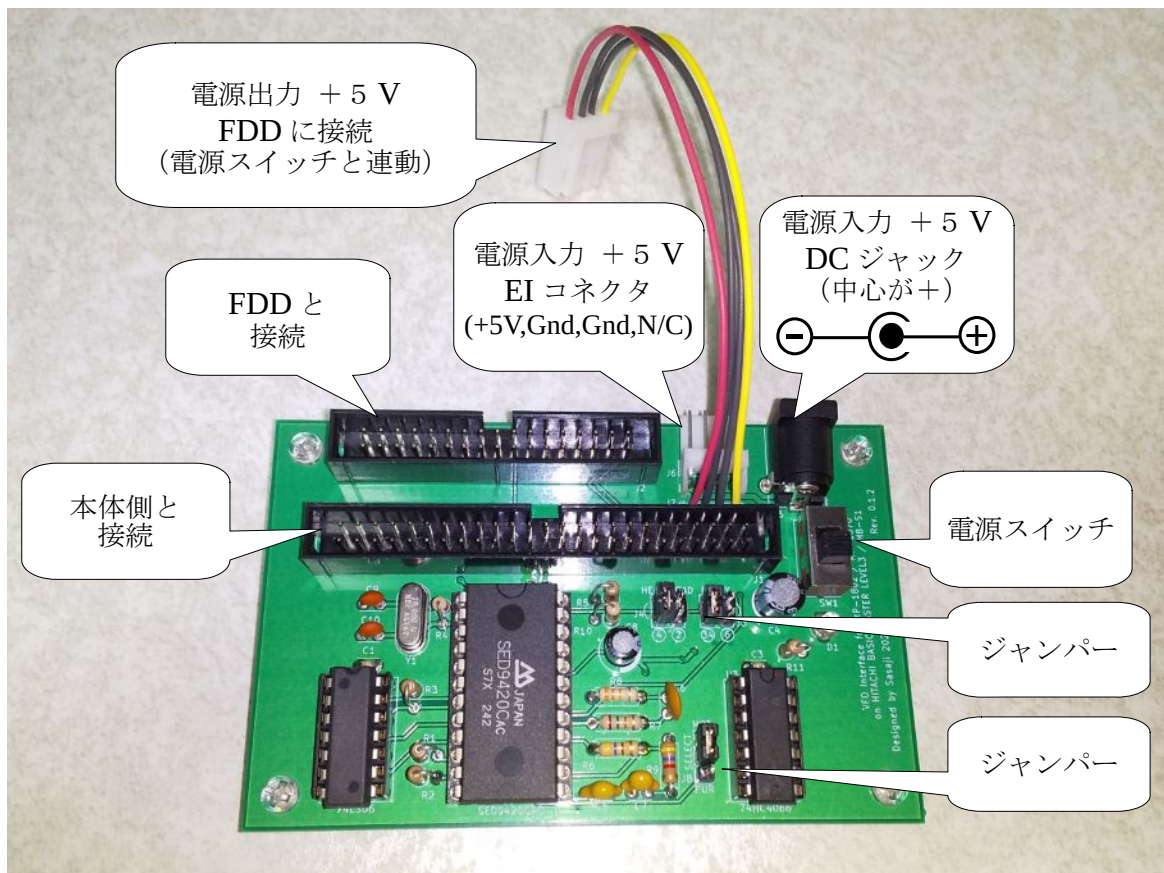
GOTEK を接続したところ

準備するもの

この基板を使用するには、以下のものを別途用意する必要があります。

- 本体側にFD インターフェースカード MP-1802 またはMP-1870 があること。
- FDD はエミュレータ(GOTEK)または2D のもの。
- 電源 : +5V, 1A 以上 (スイッチング AC アダプタ など)
- 本体側と接続するケーブル : 50 ピンアンフェノール ⇔ 50 ピン IDC コネクタ(2.54mm ピッチ x2 列)
- FDD 側と接続するケーブル : 34 ピン IDC コネクタケーブル(2.54mm ピッチ x2 列)

各部の役割



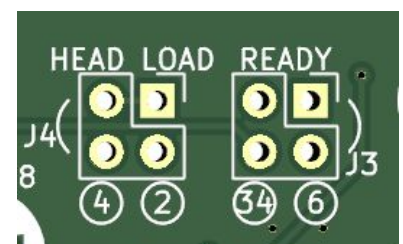
ジャンパピン

READY:

FDD からくる READY 信号がどのピンから来ているかを選択します。

ピン 34 または ピン 6

どちらかを縦方向にショートさせてください。



HEAD LOAD:

本体側からくる HEAD LOAD 信号をどのピンに送るか選択します。

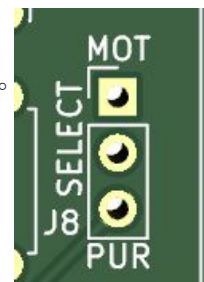
ピン 4 または ピン 2

どちらかを縦方向にショートさせてください。

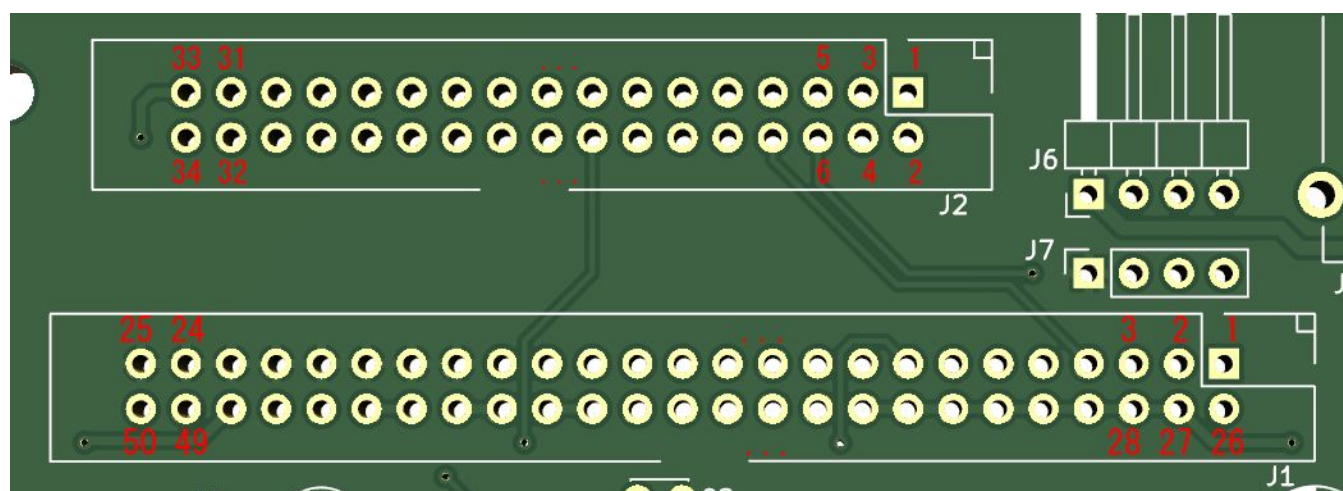
SELECT:

DRIVE SELECT 信号の挙動を選択します。

- MOT 側(1-2 をショート) : MOTOR 信号が ON のときのみ FDD に接続します。
- PUR 側(2-3 をショート) : 常に FDD に接続します。



コネクタのピン配置



【注意】シルク印刷の向きが逆になっています。正しくは、切り欠きが上側(ピン 1 側)になります。

a) 50 ピンケーブル自作時の注意点

MP-1802/MP-1870 側には、ピン 26 近くに出っ張りがあるため、ケーブル側はこの部分をまげて出っ張りに当たらないようにします。



使用上の注意

- 電源入力 J5(DC ジャック)と J6(EI コネクタ)はどちらか一方のみ接続してください。
- J6 のピン 4(+12V ライン)はどこにも接続していません。+12V が必要な FDD を使用する場合、電源コネクタはこの基板を経由せずに接続してください。
- 物理 FDD のプルアップ抵抗値が低い場合、ドライブセレクトが正常に機能しない場合があります。この場合は「オプション機能について」に記述している U3 のピンをショートさせる処置を行ってください。
- この基板は試作品です。使用中に発生するノイズや経年劣化などに対しての考慮は全くしていませんので予めご了承ください。

免責事項

この基板によって発生したいかなる損害についても当方は一切責任を負いません。

この基板を使用するにあたってはすべて自己責任で行ってください。

Web ページ

この資料や基板データなどは [GitHub\(https://github.com/bml3mk5/MP1802Gotek\)](https://github.com/bml3mk5/MP1802Gotek) に置いています。

連絡先：

Sasaji (sasaji@s-sasaji.ddo.jp)
<http://s-sasaji.ddo.jp/bml3mk5/>
(Twitter: <https://twitter.com/bml3mk5>)

改訂履歴

第 2 版: 物理 FDD 使用時の注意点を追加。図内の脚注を修正。

初版: 新規作成。